

# 浴室内設置の ガスふろがまを ご使用のお客さまへ

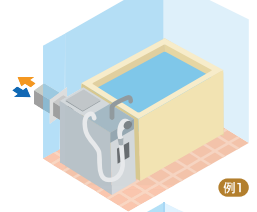
5つの  
重要な  
お願い

- 1 シャワー・追いだき時のご注意
- 2 点火時のご注意
- 3 排水時のご注意
- 4 窓等からの排気流入にご注意
- 5 冬期間は凍結・積雪にご注意

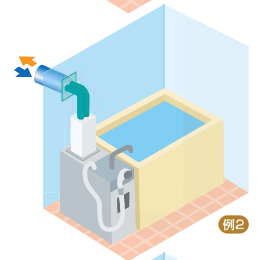
※すでに他のガス機器にお取替えの場合や取り外し済みの際は、なにとぞご容赦ください。

右記のふろがまを所有(ご使用)されている場合は、次の点にご注意ください。

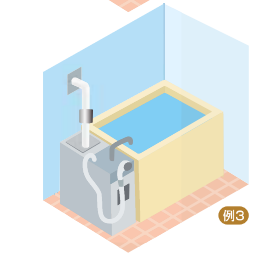
浴室内設置型  
ガスふろがまの例



例1



例2



例3

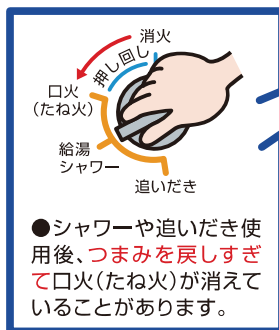
## 1 シャワー・追いだき時の ご注意

使用中に  
火が消えたときは

- すぐに再点火操作をするのは**大変危険**です。(機器内に未燃ガスが出ており、スパークにより**爆発着火する危険**があります。)
- たびたび火が消える場合は使用を中止し、**点検・修理**を依頼してください。

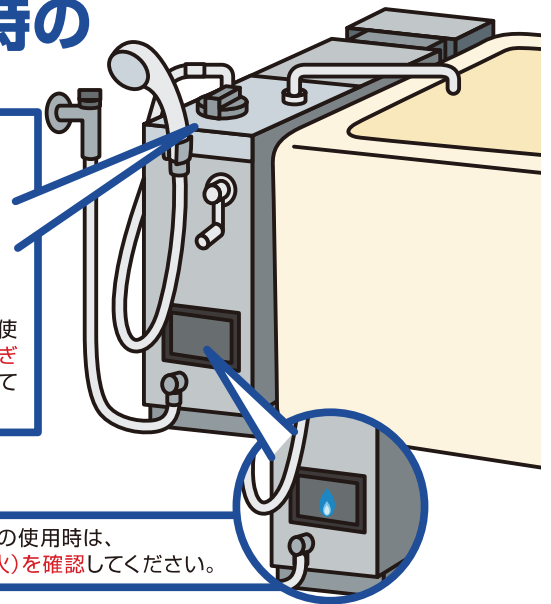
消し忘れにも  
ご注意を

- 追いだきを消し忘れると浴槽のお湯が予想以上に過熱され、やけどをおこすおそれがあります。
- ふろがまの破損や電池の消耗が早くなる(電池式の場合)おそれがあります。
- 使用後はつまみを消火に戻して火を消してください。  
※ガスを長時間継続してご使用になると、ガスメーターの安全装置が作動しガスを止めることがあります。



- シャワーや追いだき使用后、**つまみを戻しすぎて口火(たね火)が消えている**ことがあります。

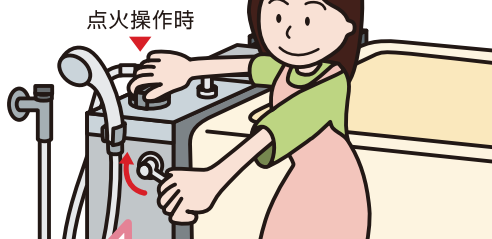
- シャワーや追いだきの使用時は、**点火窓から口火(たね火)を確認**してください。



## ② 点火時のご注意

何回も点火操作をしないと口火(たね火)がつかなくなった場合

- すぐに再点火動作をするのは危険です。(機器内に未燃ガスがたまり、大きな爆発音が発生したり機器が損傷する危険があります。)



- 点火しにくくなった場合は、点検・修理を依頼してください。

## ③ 排水時のご注意

排水口がつまり、ふろがまが水に浸っていると

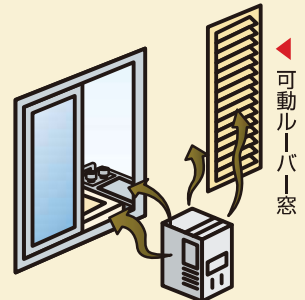
- 機器内に水が侵入して炎があふれ、点火しにくくなったり、故障や火災の原因になります。



- 排水口が少しでもつまっていたら掃除をしてください。浴槽・洗濯機の排水時は、排水口のつまりにご注意ください。

## ④ 窓等からの排気流入にご注意

- お風呂を沸かしている時や、シャワーを使っている時は、ふろがま近くの窓は閉めてください。排気が浴室に流入し、不快な臭いがしたり、気分が悪くなった場合は、ふろがまが不完全燃焼している恐れがあります。
- 排気口周辺がすすけていたり、入浴中に気分が悪くなった場合には、ふろがまが不完全燃焼している恐れがあります。ただちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。



## ⑤ 冬期間は凍結・積雪にご注意

- 凍結予防を行わないと、機器内の水が凍結し、機器の破損や水漏れの恐れがあります。取扱説明書にしたがって凍結防止措置(水抜き)を行ってください。万が一凍結したときはガス栓・給水栓を閉めて、修理点検を依頼してください。
- 積雪等により給排気トップがふさがれると、使用中に自然消火したり、点火不良の原因となります。給排気トップの周辺が雪でふさがれていないかときどき点検をしてください。

- 凍結の恐れがある場合や長時間使用しない時は必ず凍結予防を行ってください。



- 積雪時は給排気トップが雪でふさがれないようにご注意ください。